

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 653

政策体系	11	事業分類	施設管理費	所管部局	教育委員会 学校教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 2. 小学校 - 2. 小学校 明繰		
事業名	理科教育設備整備事業				
細事業名	理科教育設備整備事業				
評価表作成者				教育委員会 学校教育課	西田 文英

1. 事業の概要

理科教育においては実験等を伴うがその設備が適正なものであることが教育効果をあげるために重要である。このため、理科教育の設備を計画的に更新する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

児童の学力伸長、とりわけ理科分野の伸長に寄与する設備備品の整備である。

② 事業を実施する必要性

経年劣化により更新を要する設備備品の購入である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円				12,593			
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円				0			
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0			
	国・府支出金	千円			6,296			
	地方債	千円			0			
	一般財源	千円			6,297			
職員等の従事人員	人/年	—			0.00			
人件費	千円	—			0			
事業費総額	千円	—			12,593			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。
 ※理科教育設備費等補助金(小学校費)6,296,000円

4. 主な事業費の内訳

平成21年度繰越事業として平成22年度に実施
 小学校(16校) 理科教育備品 12,592,650円

5. 事業結果の概要

小学校理科教育備品の購入

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

理科教育には実験のありようが児童の関心興味を高める上で重要であるが、今回の理科備品の更新により教育環境の充実が図れた。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

--

■平成21年度の所属長評価

--